

市議会だより

四万十市

議会だより

”丸となつた春”

前橋英

No.49



2017. 5. 1 発行

～もくじ～

○議案 … 1ページ

○一般質問 … 2ページ～

○トピックス… 10ページ～

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827

平成29年3月定例会

四万十市議会3月定例会は、3月3日に開会し、3月17日までの15日間の会期で開催されました。

今期の定例会には、執行部から「28年度補正予算8件」「29年度予算17件」「条例の改正等15件」その他道路線の認定などが提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、7名が「根わさびの実証実験」、「デマンド交通」、「観光産業振興」、「市長公約実現への経緯」などについて質問を行いました。

詳細については、3ページから掲載しています。

【議案】※「四万十市」の文字は省略しています。

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
1	平成28年度一般会計補正予算(第6号)	全会一致可決	24	個人情報保護条例の一部を改正する条例	全会一致可決
2	平成28年度国民健康保険会計事業勘定補正予算(第4号)	全会一致可決	25	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
3	平成28年度国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第4号)	全会一致可決	26	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
4	平成28年度後期高齢者医療会計補正予算(第3号)	全会一致可決	27	一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	全会一致可決
5	平成28年度介護保険会計保険事業勘定補正予算(第4号)	全会一致可決	28	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
6	平成28年度簡易水道事業会計補正予算(第5号)	全会一致可決	29	税条例等の一部を改正する条例	全会一致可決
7	平成29年度一般会計予算	全会一致可決	30	税外収入、督促手数料及び滞納金条例の一部を改正する条例	全会一致可決
8	平成29年度国民健康保険会計事業勘定予算	全会一致可決	31	多目的デイ・ケアセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
9	平成29年度国民健康保険会計診療施設勘定予算	全会一致可決	32	市民ふれあいセンター使用条例の一部を改正する条例	全会一致可決
10	平成29年度奥屋内へき地出張診療所会計予算	全会一致可決	33	市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
11	平成29年度後期高齢者医療会計予算	全会一致可決	34	山間地域定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	全会一致可決
12	平成29年度下水道事業会計予算	全会一致可決	35	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致可決
13	平成29年度と畜場会計予算	全会一致可決	36	生活交通バス事業に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
14	平成29年度幡多公設地方卸売市場事業会計予算	全会一致可決	37	有機物供給施設設置条例を廃止する条例	全会一致可決
15	平成29年度住宅新築資金等貸付事業会計予算	全会一致可決	38	農林漁家健康増進施設設置条例及び四万十市星星の家設置条例を廃止する条例	全会一致可決
16	平成29年度鉄道経営助成基金会計予算	全会一致可決	39	道路線の認定	全会一致認定
17	平成29年度農業集落排水事業会計予算	全会一致可決	40	過疎地域自立促進計画の一部変更	全会一致可決
18	平成29年度幡多中央介護認定審査会会計予算	全会一致可決	41	公の施設の指定管理者の指定	全会一致可決
19	平成29年度介護保険会計保険事業勘定予算	全会一致可決	42	公の施設の指定管理者の指定	全会一致可決
20	平成29年度簡易水道事業会計予算	全会一致可決	43	財産の無償貸付	全会一致可決
21	平成29年度園芸作物価格安定事業会計予算	全会一致可決	44	副市長の選任	賛成多数同意
22	平成29年度水道事業会計予算	全会一致可決	45	平成28年度一般会計補正予算(第7号)	全会一致可決
23	平成29年度病院事業会計予算	全会一致可決	46	平成29年度一般会計補正予算(第1号)	全会一致可決

※第44号議案については、無記名投票の結果、同意となりました。(賛成14、反対3)

[陳情1]高知県立中村高等学校野球部甲子園出場に伴う支援に係る要望 採択

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	川村一朗 (一問一答)	1 根わさびの実証実験について	3
2	垣内孝文 (一問一答)	1 本市デマンド交通について 2 本市の防災・減災対策の取組について	4
3	大西友亮 (一問一答)	1 新電力について 2 不登校について	5
4	上岡 正 (一問一答)	1 八束地区防災拠点施設整備事業について 2 道路行政について 3 市長の政治姿勢について(4年間の総括)	6
5	安岡 明 (一問一答)	1 観光産業の振興 2 四万十川下流域の活性化推進 3 光ケーブルの整備 4 スポーツ振興	7
6	今城照喜 (一問一答)	1 市長公約実現への経緯と、2期目の決意(新しい1次産業振興、観光産業、道路網、市民病院、西土佐診療所、西土佐分校グランド、4年間の自己評価)	8
7	谷田道子 (一括)	1 市長の政治スタンス・認識について 2 総合戦略(まちづくり)について 3 運用が始まったマイナンバー制度について 4 就学援助制度の拡充を求める	9

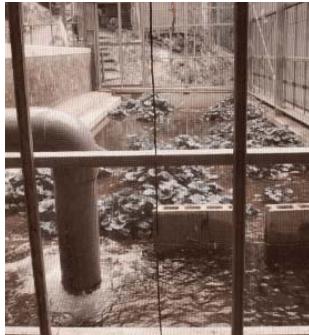
※一般質問は、3月9日(木)、3月10日(金)の2日間で行われました！！



根わさびの実証栽培について 高額公的資金投入を伴う事業、 より慎重な対応を!



川村
一朗議員



西予市河辺町わさび栽培実証試験

質問 栽培適温が12～13℃とされる中、間崎では3～4℃高い水温で順調な生育は大変厳しいと思う。成功率が何%あれば公的事業として取り組むのか

答弁 市としての年間平均気温は16・3℃、水温は15・5～17℃、汲み上げる量は毎分2500ℓ。水道に影響はないと考えているが水道組合とは話していない。

事業の成功確率は

質問 国への補助申請について、3月3日の産業建設委員長報告では協議中であり、3月中旬～下旬に計画書を提出予定との話だが、つたが9日現在で申請しているのか。申請しているのであれば、事業費及び市の負担金はいくらか

質問 実証栽培を計画している間崎の気温、水温、汲み上げる水量はいくらか。や水道組合との契約は

答弁 一般的な栽培条件の範囲は気温、水温とともに8～18℃で栽培可能と言われている。標高は300～700m。

質問 わさび栽培を現在行っている地域の環境は

申請書の提出について



実証栽培予定地

質問 充分な説明もなく高額の事業を進めるのは本市にわさび栽培に適した土地の目処があるのか。個人でボーリングをし、根わさびを栽培しようとするば費用はどの程度必要か

答弁 場所は間崎地区を模索。一般的な規模で費用は2500万円から3千万円必要。年間利益251万円を見込んでいる。

質問 市がモデルとしている糸魚川市では水温が14～15℃で栽培。間崎は水温や気温が高くなりリスクが大きいと思うが研究者の論文、もしくは科学的根拠があるのか

答弁 特許を持つ会社が開発したプラントは直接わさびの根元に散水する方式で水温が上がりにくく、水温も8～18℃の範囲で間崎での栽培が可能と考えている。今後研究者の論文等も出されると思うが、今はない。

質問 地下水を利用しての実証栽培であり、既存の栽培と別のレベル。実証栽培にはリスクが伴う。科学的根拠がある訳ではないのを言っていたら全ての事業において、職員は委縮して新しい事業に取り組めない。

質問 計画書を提出している。実証実験事業は3年間を計画しており、総事業額は4130万円、国費1190万円、市費2940万円だ。

質問 実証栽培については2月15日の委員会で口頭で初めて聞いた。計画書を提出し、それが通れば事業を進めるということは市民や議会軽視ではないか

質問 試掘ボーリングをした経過もありこれまで折にふれ説明している。議会軽視とは思っていない。

質問 実証栽培について2月15日の委員会で口頭で初めて聞いた。計画書を提出し、それが通れば事業を進めるということは市民や議会軽視ではないか



本市デマンド交通の利用実態について 防災・減災対策の取組について問う

答弁 利用予測については、これまで試算した経過はないが、国の補助金を交付

質問 利用予測や輸送コストの試算及び行政負担の適正化の検討は成されているか

答弁 本市デマンド交通システムでは、運行エリア別利用登録者数のカウントが出来てないが、地区別数值としては、平成26年度、中村地域が786名、西土佐地域が26名、計1512名となっている。

答弁 本市デマンド交通システムでは、運行エリア別利用登録者数のカウントが出来てないが、地区別数值としては、平成26年度、中村地域が770名、西土佐地域が723名、計193名。27年度、中村地域が786名、西土佐地域726名、計1512名となつてている。

質問 高齢化・人口減少社会に突入しつつある現在、生活交通の問題は大きな課題である。なぜなら、買い物や通院を始めとする生活に必要な施設の立地が、人の移動が伴わない限り、生活が維持できなくなつてある。本市のデマンド交通の利用実態の現状について問う



まちバス

申請する際に必要となる、※フィーダー系統確保維持計画は作成している。利用者数を維持する事については、各エリア単位で目標数値を設定している。又、行政負担の考え方については、厳しい財政事情の中でも持続可能な地域公共交通としていく為、負担の適正化を念頭に置いた取り組みを行う必要がある。行政負担の水準を現状程度に維持していく為、毎年概ね一億円を目安としている。公共交通の運営を支援していくこうという考え方である。

質問 市政懇談会でエリアの拡大、利便性の向上等地域の切実な声があった。現在企画広報課の中で検討している。どういう形で市民のニーズに応えていくか、今後探っていく。特に高齢者が多くなる中、山間部は基より周辺部の古賀、具同、東山地区等全てにわたって今一度見直し、運行区域の拡充等について検討していきたい。



東町自主防災組織の訓練

質問 本市は行政や商業施設、医療機関等が集積する市街地エリアを少し離れた中山間地域を多く擁しており、車は移動手段として必携である。市民の皆さんから利便性の向上、交通エリアの拡大、運行形態の見直し等について要望を多く聞く。例えば「まちバス」のエリア拡大や、デマンドバスの日曜運行ができるのか等。この点については

答弁 今年度より3ヵ年をかけ平成30年度末迄に市内54避難所全てにおいて作成する予定で進めている。今年度は蕨岡、下田、東中筋、中村、西土佐の5地区9施設について作成しております。3月末には完成予定である。

質問 現在本市では避難所運営マニュアルを策定中であるが、防災先進地の臼杵市では平成26年4月に避難所開設・運営マニュアルを完成している。本市ではいつ頃完成予定になるのか

自然エネルギーの発電所について 学校現場での不登校対策について



大西 友亮議員

自然エネルギーの発電所について

質問 平成24年7月から導入された、再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度によつて、新エネルギーによる発電事業が全国的に注目を浴びてゐる。

県では、この固定価格買取制度の追い風を最大限に生かすため、県と地元市町村、県内企業などが共同出資で発電事業会社を設立し、得られた利益を地域還流再エネ事業」の取組を進めている。

四万十市には遊休市有地があるが、なぜ積極的に動こうとしないのか。新しいビジョンで県が力を入れているのは、小風力発電の普及。海岸地域が風力発電の有望地域とされている。四万十市として県の取り組みに連携して、取り組むつもりはないか

答弁 民有地についても活用出来る所があれば、何か対策をするとか色々な形が出来ると思うので、今後考えていきたいと思う。

小風力は現在20キロワット未満の場合は、調達価格が五十五円と大変よくなつていて、20キロワット未満の場合は、非常に効率が良いのではないかと考えている。

取り組む場合には、しっかりと調査をして、風の適地が有るのであれば、新エネルギーの推進も考えている。

いじめや学校の勉強についていけない、学校でのトラブルや家庭環境など非常に多岐にわたる。

その一つ一つで対応や対策は変わってくると思うが、不登校で学校に来ていなかつた児童に对して、学校に来た際に、学校現場ではどの様な対策をしているか

不登校対策について

質問 いじめ対策について今後新たな取り組みなどがあるか。不登校とひとくくりにしても理由は様々だ。

では、暖かい雰囲気で迎えるように配慮をして、徐々に学校生活に適応をしていける学校作りが、非常に重要だと考えている。



答弁 現在の四万十市を見た場合、市独自での新電力の立ち上げは費用対効果、また収益性の観点から慎重に考えたい。

答弁 子供達自身が立ち上がりついじめをしない、させない、許さない、といった取り組みを今後も続け

ていき、来年度からは、いじめストップ四万十サミットの開催をして、いじめ防止基本方針の徹底をしていく。不登校児童が登校してきた際の対応とし



八束地区防災拠点施設整備事業について 県道江ノ村～間の改良工事について

質問 平成24年に四万十市防災拠点施設整備基本計画等策定の委託業務を行つており、この時であると
思います。

答弁 当時は3・11の東日本大震災の後で大変混乱していたと記憶しております。八束地区については高台がありませんでしたので、早急に高台に防災拠点を作らなければならぬと検討する必要がありました。誰がと申しますと當時の市長であると思います。

質問 質問に答えて頂きました。再度伺います。誰が、どういう経緯で決めたのかお答え下さい

答弁 平成24年に四万十市防災拠点施設整備基本計画等策定の委託業務を行つております。この時であると
思います。

質問 12月議会に引続き、質問させていただきます。いつ誰が、どういう経緯で決定したのか

質問 約9億円を使って作る防災拠点に避難する住民は現在、何人を想定していますか

答弁 580人を見込んでおります。

答弁 総事業費は約11億7700万円であります。保育園分は約2億5千万円です。

質問 ゴルフ場に保育園と避難広場を作る今回の計画の今までの総事業費を教えて下さい。その内、保育園分はいくらですか

質問 高規格道路中村～平田の中で現在進んでいなのは県道江ノ村～間の側道部分だけであります。平成28年度は工事が止まつてているのではないか。高規格道路は約10年も前に開通している。早急な工事完成を要望して頂きたい。

質問 県が地元に約束し事業をしているが、用地の関係で進んでいないと伺っております。今までの取り組みと今後の展望をお聞きし

答弁 確かに日当たりの関係で当初の予定で配置していくらしかった予算であると思います。

いと考えています。事例をあげれば日当たりの悪い、保育園の480万円をかけて取得した用地をゴルフ場のボールが飛んでこないようにするフェンスが2500万円もかかる。また日当たりが悪いため無駄な予算約3000万円がかかったのではないか



江ノ村間の早期改良

答弁 この道路は県道宗呂中村線の枝線であり、県が実施をして預けることとなつております。一部の用地問題で難航していることは承知しております。この路線の完成で高規格道路中村～平田間の側道はすべて開通致します。まちづくり課に新たに用地担当の係を作り、県と協力していきます。

安岡 明 議員

活力ある四十万市を目指せ!



観光産業の振興促進策

質問 幕末維新博期間中の「しまんと特別企画展」は観光産業振興の絶好のチャンス、成功への取り組みは

答弁 企画展のテーマは「郷土が生んだ偉人たち」とし、幕末維新期に活躍した人物に光を当て樋口真吉や遠近鶴鳴ら14人をパネルで紹介。もう一つのテーマは「川とともに生きるまち」と題し土地の成り立ちから現代迄を6期に分けて紹介し、一期ごとに展示資料を入れ替える。入館者一人万人を目標に取り組む。



中央公民館の『しまんと特別企画展』

141人も磨き上げていく。市史の続編をとの提案は、現在は歴史資料の磨き上げが必要な時、一連の作業が終われば新しい認識に立った市史の発刊も検討し後世に残す。検討委員会を作つていきたい。

答弁 大規模公園内の四万十地区全体計画115.

温だと胞子を作つて、ノリ自体が成長せず収穫出来ない。対策の一つとして河床を均し、ノリが付きやすくする事が必要。

9haの内、32haが供用されている。平成27年度の施設の利用状況は「とまろつと」が1万6千人、「いやしの里」が宿泊約1万8千人と最も多く、平野サーフィン場は7千2百人以上、ドッグラン施設は5百人を越えるがソフトボール場やテニスコート場は利用率が低い。近年大方地区ではサッカー場等スポーツ施設を利用した合宿に力を入れ利用客が急増している。本市も各エリアの役割、コンセプトに基づいた必要な施設整備を地元の意向を確認する等し、事業者の高知県に要望していく。

一方アオサノリの方は年は特に少なく5tであった。不漁の原因は漁場の淡水化による成長阻害が起るためで網の設置位置を低くする等の対策を考えている。

質問 企画展後の歴史・文化的資源の掘り起こし・磨き上げの推進計画と、市史の続編計画は

答弁 市民の皆様から貴重な資料提供の申し入れや情報も頂いた。郷土資料館リニューアルオープンに向け市内神社仏閣からの情報収集等準備を進め、中市史に記載される人物

四十万川下流域の活性化推進

質問 下流域の活性化推進に遅れを感じる。双海・平原等の高台地が未活用。土用の現状及び公園指定ランクの積極的利活用を図る方向性は

質問 「四十万川アオノリ・アオサノリ」生産量減少の原因分析と今後の対策は

答弁 アオノリの10年間の収穫量は年平均約3t、多い年で13トン、少ない年では1tに満たない。不漁の原因は芽生え時期に高水



アオサノリ風景(竹島川)

市議会だより

今城 照喜議員



産業振興と観光産業の両立て 雇用の創出を！

産業振興と観光産業の 両立て雇用の創出を

質問 四十万市中山間振興

本部を設置し、対策を講じると公約にあるが、どのような対策を講じてきたか

答弁 中山間振興本部については現在未設置で、これは、就任する以前には、高

齢化や過疎化、又地域振興については、特に中山間地域の大きな課題であると認識をしていた。振興本部の設置により地域振興の取組みを進めることができるものと考えていたが、少子高齢化や地域活性化についても、もはや中山間地域に留まらず、本市全域の課題となつている事を認識した。そこで平成27年10月四十市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、この組織を中心として、総合戦略で位置づけられた施策や、事業をしつかりとした進捗管理のもと

で、国の地方創生の支援などを活用しながら着実に推進をし産業の振興や雇用の創出など市民が実感できる形になるよう取組んでいる。

質問 中山間地域の歴史、文化、特性を生かした周遊コース等の作成を

答弁 現在4モデルコースを設定、西土佐では、君が淵や半家天満宮や岩間沈下橋等を巡るコース、中山間地域コースに付いても、西土佐観光推進協議会と協議しながら、出来る方向で考えたい。

特養、周囲には学校等多くの施設がある。特養で生活されている方々、又、学校

生徒だけではなく、特養、病院と、喫緊の課題だ。行政主導だけでなく、特養、病院関係者、議会、地域の方々等のメンバーで当面の改善策について、早急に検討すべきでは

質問 跡地の利活用の考えは

答弁 市の特産品の試験圃場として就農を希望する研修施設の整備や農地としての貸し出しなど考えられる。但し、市の単独では財政的に厳しいものがあり、次年度の補助事業について検討し、利活用における地権者のご理解を得たうえで西土佐地域の振興について検討していくたいと考えている。

橋地区グラウンド跡地について

質問 跡地の利活用の考えは

答弁 市の特産品の試験圃場として就農を希望する研修施設の整備や農地としての貸し出しなど考えられる。但し、市の単独では財政的に厳しいものがあり、次年度の補助事業について検討し、利活用における地権者のご理解を得たうえで西土佐地域の振興について検討していくたいと考えている。

質問 西土佐地域の核となるこの施設は、高齢者の末期医療を支える重要な役割を持つている。隣接する

西土佐診療所の運営について

質問 西土佐地域の核となるこの施設は、高齢者の末期医療を支える重要な役割を持つている。隣接する

答弁 高齢者世帯も増加する中、西土佐地域になくてはならない医療施設として、住民の皆様との話し合いをして行く事も大変重要なと考えている。今後地域懇談会の議論等を踏まえた中で、出張診療所や入院施設等の医療体制などはどうのような形でもつて行くのか方向性を探りたいと考えている。



岩間地区 夏祭り

谷田 道子議員

入学準備金 3月支給の実施を!



入学準備金の3月支給を求める

質問 就学援助制度は、子育て支援や、子どもの貧困の連鎖を断ち切るために、大きな役割を果たしている。12月議会では、7月に支給されている入学準備金を3月に支給するよう求め質問した。

実施に向けて検討されているとの事だが、子育て支援・若者定住のためにも、何も問題なければ来年の3月に間に合うように速やかに取り組んで頂きたい

答弁 国は要保護世帯については、入学準備金を小学校・中学校ともに約倍額にした。これを受けて準要保護世帯にも対応するようしている。

前倒しの時期については、事務処理上詳細な検討が必要だ。実施に向けて体制整備を行っているが、その課題が整理できれば実施の方向になるので、うまくいけば来年3月の実施も可能かと思う。

質問 小中学校再編検討委員会では、再編についての考え方や、望ましい教育環境、再編の具体的方策について諮詢し3月末に答申するとしている。

学校統廃合は、歴史ある学校を地域から無くすことであり、地域をますます衰退させる。

地域を活性化させるまちづくりの取り組みとあわせて、住民・保護者らと協議し、合意のもとに進めるべきで、県もコミュニティの核として、小規模校の存続を模索している。最終的に西土佐を除いて2校が望ましいとされているが、どのような議論をされたのか。またどこを想定しているか

中学校再編について聞く



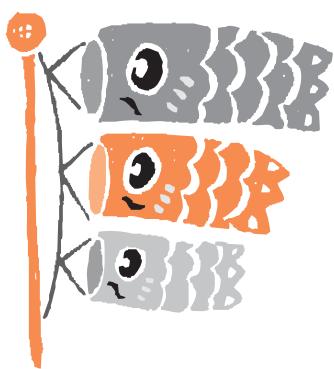
質問 社会性や協調性を培うため、1学年25人の2学級、50人。全学年で150人程度が適正規模と考える。検討委員会ではどこを残すかはきめていないが、学校規模を考えると、中村中学校と中村西中学校になるのではないか。

質問 「通知書」へのマイナンバー記入はどのようにして事業所へ「特別徴収税額の決定・変更通知書」の送付が始まる。

送られてきた事業所では、個人番号が漏れないよう厳重に管理する必要があり、漏れたら罰則を伴うもので、取り扱いに苦慮している。

事業所に送付する「特別徴収税額の決定・変更通知書」へのマイナンバーカードはすべきでないと考えるがどうか

質問 5月に送る「通知書」にはナンバーの記入欄が設けられている。普通郵便で送ると漏洩リスクもあり、簡易書留で送ると多額の経費を要する。実態としてマイナンバーを記載しなくても業務上は支障がないので、今年度はナンバーを記載しないで対応する。



◎平成28年度 議長の主な活動状況

平成28年4月

- 8日 「スクールミールぐどう」開所式
- 10日 道の駅「よって西土佐」落成・
オープン式典・祝賀会
- 13日 第128回高知県市議会議長会定期総会
- 26日 第78回四国市議会議長会定期総会

平成28年5月

- 13日 全国自治体病院経営都市議会協議会・
第74回理事会及び第44回定期総会
- 20日 平成28年度枚方市・四万十市友好都市
推進協議会総会
- 23日 第27回四国西南サミット
- 31日 全国市議会議長会第92回定期総会

平成28年6月

- 11日 石破地方創生担当大臣と知事・
市町村長・議長・県議会議員との会合

平成28年8月

- 2日 平成28年度四国治水期成同盟連合会
第1回要望活動
- 7日 西土佐中学校体育館落成式及び祝賀会
- 25日 第129回高知県市議会議長会臨時総会

平成28年10月

- 24~25日 平成28年度高知県市議会議長会視察研修
- 27日 平成28年度枚方市・四万十市友好都市
推進協議会臨時総会
- 28日 第67回四国市議会議長会理事会

平成28年11月

- 1日 高知県戦没者追悼式
- 1日 平成28年度四国横断自動車道高知県建
設促進期成会要望
- 9日 全国市議会議長会第101回評議員会
- 13日 横瀬川ダム本体建設工事「起工式」・「祝賀会」
第39回四国西南地城市議会議長懇談会定期総会
- 14日 幡多三市議会議長懇談会
- 21日 平成28年度四国治水期成同盟連合会
第2回要望活動

平成29年1月

- 15日 市立中村中学校体育館落成式・祝賀会
- 24日 特別交付税要望
- 31日 四国西南地域道路整備促進協議会要望

平成29年2月

- 9日 全国市議会議長会第102回評議員会
- 11日 大月町制施行60周年記念式典
- 21~22日 平成28年度土佐西南大規模公園建設促
進同盟会先進地視察

平成29年3月

- 11日 第89回選抜高等学校野球大会中村高等
学校出場壮行会

◎四万十市議会議員政治倫理条例について

議員政治倫理条例は、平成28年4月から施行しているのですが、昨年、開催しました「住民と
議会との懇談会」において、わかりやすい説明を求めるご意見をいただきましたので、今回掲載し
ています。

この条例は、市議会議員が市民全体の代表者として、その人格及び倫理の向上に努め、その地位
による影響力を不正に行使して自己又は第三者の利益を図ることのないように必要な措置を定める
ことにより、市民の信頼に応え、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的とする
ものです。

内容としては、議員が果たさなければならない責務や政治倫理基準などについて規定しています。

議員が遵守しなければならない具体的な政治倫理基準としては、次のように規定しています。

- 市民全体の代表として、品位と名誉を損なうような行為を慎み、その職務に関し、疑惑を持たれ
るおそれのある行為をしないこと。
- 市民全体の利益追求を指針として行動し、その地位を利用して金品を授受しないこと。
- 市や関係団体が業者と契約する際、特定の業者との不適切な関係を禁止すること。
- 市等の職員の採用・人事等に関する不当な関与や公正な職務執行の妨げなどをしないこと。
- 寄付などの制限。
- 市から補助、助成を受けている団体などの長への就任を禁止すること。
- 配偶者、親又は子が市等の職員である場合に疑惑を持たれないようすること。
- 地位を利用した嫌がらせ・強制・圧力をかける行為やセクシャル・ハラスメントなどの行為を禁
止すること。

また、議員が役員をしている企業などの市との契約の辞退など、議員が遵守事項に違反している
疑いがある場合などに市民の調査請求や説明会開催の手続きなども規定しています。

◎中村高校ナイン 来庁

平成29年3月23日（木）、「中村高校野球部」及び「先生」が甲子園の報告のため来庁され、市議会からも正副議長、総務・産業建設常任委員長が参加しました。

選手らからは、「大舞台でも楽しんでプレーすることができた」「スタンドの大応援団を見て最初は緊張したが、すぐにありがたいという感謝の気持ちになった」「地域の方々に守られている感じがした」など、それぞれ感想をいただきました。

夏にも期待！！がんばれ中村高校！！



委 副 委 員 員 長
員 員 長
西垣 安川 上宮 今宮
尾内 岡村 岡本 城崎
祐孝 一礼 博照
佐文明朗 三行 喜努

広報広聴委員会

私は議員にとりまして任期最後の年度を迎へ、更に市民の皆様方の負託に応えるべく努力する所存です。で一層のご指導ご鞭撻をお願い致します。

4月23日執行の市長選挙と合わせ2名の議員が加わる事となり新たな活力を感じます。

また、今回の選抜高校野球に中村高校が参加出来た事は四十市全体に大きな勇気と活力を与えていただきました。

寒暖の差が厳しかった時も終わり、新緑の春たけなわの時節となりました。市民の皆様方には、ご健勝にてご精励のことと拝察いたします。

さて、3月議会は広報でお知らせいたしておりますとおり、「新年度の道しるべ」となる各予算や条例等、全て全会一致で原案可決となりました。

中でも、一般会計では、市長改選期

のため、通常より減額での骨格予算と

なりました。

編集後記

発行 四十万市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四十万市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四十万市議会」まで

次回定例会は6月12日からの予定です。傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は市ホームページ (<http://www.city.shimanto.lg.jp>) で閲覧できます。

※平成28年3月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は6月中旬の予定です。

[Ustreamによる議会ライブ中継は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[You Tubeによる録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のホームページは…]

URL:<http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/sigikai/sigikai.html>

[市議会のLINEは…]

表紙のQRコードを読み込むか、LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』



ライブ中継は…



録画中継は…



フェイスブックは…



ホームページは…



LINEは…



スマートのバーコード
アプリから…



読み取るだけ！！